

令和7年度 砺波市デジタル化推進計画の取組について

資料7-1

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 行政手続きの電子申請対応	(新規) 電子申請サービス「L o G o フォーム」の導入	ホームページに申請ポータルを設置した。(4 1 手続き) また、講座申込み・アンケート等に活用し、住民サービス向上を図った。(3 2 手続き)
	スマート窓口システムの対象手続きの拡充	おくやみ関係の2 手続きを追加し、合計2 0 手続きとなった。印字書類が作成され、手書き記入箇所が半分程度となった。
(2) A I や R P A など先端技術の活用による事務効率化と	(新規) 生成A I システム導入の調査・研究	行政の効率化・高度化をもたらす生成A I サービス導入に向けて調査を行う。
	A I チャットボットのQ & A 集の充実	Q & A 集の更新・見直し等4 3 項目を行い、回答精度の向上を図った。
	R P A 利用業務の拡充	引きつづき利用業務の拡充をすすめることで、業務効率化を図る。 ※RPA=Robotic Process Automation 定型かつ反復的な事務作業を自動化し業務効率化すること。
(3) 市民の利便性向上を図る自治体D X の推進	(新規) 小中学生向け電子書籍サービスの導入	4 8 5 冊がタブレット等で閲覧可能。同時貸出が可能で、友達からのおすすめの本をすぐに読むことができる。また、学校の朝読書時間等で活用されている。
	(新規) G I G A スクール構想推進に向けた校内通信ネットワーク、タブレット端末、電子黒板等の運用	校内通信ネットワーク、Windows 1 1 対応のタブレット端末等を更新し、利用開始されている。
	(新規) 窓口利用体験調査による業務の課題把握(窓口B P R)	職員が来庁者の立場で、実際に窓口を体験することで、普段気づきにくい非効率な点や改善すべき点を把握し、業務改革に取り組む。 ※BPR=Business Process Reengineering 既存の業務プロセスを根本から見直し、再構築すること。
	パンフレット・チラシ等のデジタル化推進	QRコードをスマートフォン等で読み込み、ホームページ・電子パンフレットにアクセスいただくことで、より詳しくタイムリーな情報提供、かつペーパーレス化を図った。
	(新規) 市発注工事・業務の電子納品対応	電子データで成果品を納品することにより、業務の効率化、省資源化・省スペース化を図った。

実施項目	取組事項	取組状況
	(新規) 地方税統一QRコード(eL-QR)の活用検討	市税等の納付に利用されている地方税統一QRコードについて、市税以外の使用料等の納付に利用拡大を行うか検討する。
	SNS(X、Instagram等)による情報発信	引きつづき、効果的に行政情報や緊急情報(気象警報、クマ等出没)を発信する。
	高齢者向けスマホ・タブレット講座の開催	引きつづき、スマートフォン等のデジタル端末での情報取得に不慣れな高齢者に向けた講座を提供する。
(4) 防災・被災者支援に係る取組	「安否確認等支援ツール」の導入支援	地域防災力の向上と地域コミュニティ活動の推進を図るため、自治振興会や自治会・町内会が「安否確認等支援ツール」を導入された場合、初期費用等を助成する。
	(新規) 「被災者生活再建支援システム」の導入	被災者生活再建支援システムを導入し、災害発生時に現地調査から罹災証明書の発行までの迅速化を図る。
	水門の遠隔操作化	水門を遠隔操作可能に改修し、ゲリラ豪雨による市街地洪水防止に迅速に対応を図る。 ((施工箇所) 幸町地内若林口用水) (令和5年度まで3基整備、今回1基追加)
(5) 自治体情報システムの標準化・共通化	国の標準システムへ移行に向けた作業	ガバメントクラウド上のサービスを各自治体が利用することで、相互の情報連携やデータ共有ができるようになり、業務の効率化や利便性の向上を図る。
(6) セキュリティ対策の徹底	県セキュリティクラウドへの継続参加	引きつづき富山県が調達したセキュリティクラウドサービスを利用し、情報セキュリティの確保を図る。